

第 36 回 埼玉新聞社杯争奪大会 実施要項

1 大会日程・会場

大会日程	令和 7 年 6 月 29 日(日)、7 月 6 日(日)、13 日(日) 予備日 7 月 20 日(日)、21 日(月祝)
試合場	浦和軟式少年野球連盟専用球場 A 面、B 面

2 大会規定

- ① 試合球は、J 球を使用する。(浦和軟式少年野球連盟用意)
- ② 変化球は認めない
- ③ 試合時間は、1 時間 30 分を超えて新しいイニングに入らない。(但し、コールドゲームは適用する。)
- ④ 試合は 6 回戦で行う。4 回以降 10 点、5 回以降 7 点差の場合、コールドゲームとする。
- ⑤ 雨天・日没の場合、4 回終了をもって試合成立とする。その他は再試合。
- ⑥ 没収試合は、一方のチームに起因する何らかの事情により試合の開始または続行が困難となった場合、【6-0】にて過失のないチームへ勝利を与える。
- ⑦ 全試合シートノックを行う。但し、対戦カード両チームが同日 2 試合目の場合は行わない。
- ⑧ 投球数は、1 日 70 球以内とする。試合中に規定投球数に達した場合、その打者まで投球することができる。申告故意四球・牽制球・送球とみなされるものは投球数に数えない。ボークにかかわらず投球したものは投球数に数える。
- ⑨ 決勝戦は、1 時間 30 分 6 回戦、延長は 2 回までとし、勝負が決しない場合はタイブレーク方式により勝負を決定する。
- ⑩ 同点で時間切れの場合は、タイブレーク方式により勝負を決する。
(タイブレーク方式は、1 回のみとし、最終イニングの継続打順、一死満塁で開始する。それでも勝敗が決しない場合は最終守備の選手 9 名で守備位置が若い順による抽選で勝敗を決する。但し、決勝戦は勝敗が決するまで繰り返す。)
- ⑪ 1 チーム登録は、監督 1 名・コーチ 2 名・スコアラー 1 名・選手 20 名以内で、背番号は、指導者(23~30 番)、選手(0~99 番、主将は 10 番)とする。
- ⑫ 審判の判定に関する抗議は認めない。但しルールへの適用についての確認は認める。
ルールの適用についての確認を行えるのは、監督又は主将の内、いずれか 1 名とする。
- ⑬ ベンチは、組合せの若い番号が 1 塁側とする。
- ⑭ 同一チームの選手、監督、コーチは同色、同形のユニフォーム(帽子、ストッキングを含む)を着用すること。またストッキングが見えるように着用する。
- ⑮ 上記の大会規定内容を各チームにおいて徹底すること。
- ⑯ DH 制は採用しない。
- ⑰ 一般用(中学生~大人)バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。なお、一般用バットであっても、木製・金属製・カーボン製・複合(金属/カーボン)バットについては、使用制限を行わない。

3 注意事項

- 試合開始 30 分前には集合、前試合が終了次第開始する。メンバー表は 4 部用意する。
- 応援合戦で相手選手をヤジる事、応援席での鳴り物の応援は禁止する。
- 喫煙は予め決められた喫煙場所でのみ行う。
- メガホンは、ベンチ内 1 個許可する。
- 必要とされる父母若干名はベンチに入れることとする。

4 表彰規定

- ① 団体：優勝・準優勝・3 位
- ② 個人：最優秀選手(優勝チーム)、優秀選手(2 位、3 位より各 1 名)